



やかやま

令和3年11月  
第80号

# 議会だより



- 議案の主な内容及び結果 ..... P 2 ~  
(第3回定例会、第3回臨時会)
- 一般質問 村政のここを問う！ ..... P 12 ~
- 議会活動報告 ..... P 15 ~
- お知らせ・村民ひろば ..... P 18

# 令和2年度決算を認定

**一般会計歳出総額は37億3566万円で過去最高額に**

令和3年第3回定例会は9月2日から16日までの日程で開催されました。

令和2年度決算認定、教育委員の任命同意、固定資産評価審査委員会委員の選任同意、条例の一部改正、補正予算、工事請負契約など19議案が提出され、全議案が可決されました。その他、たかやま振興公社の経営状況など2件の報告がされ、3名が一般質問を行いました。

## ◆決算監査意見書（抜粋）

代表監査委員 関 令一郎  
監査委員 野上富士夫

の推移をみると、自主財源の構成割合は37・3%で、前年度に比し11・7ポイント減少している。

### イ 岁出の構成

歳出決算額を性質別に分類し前年度と対比すると、義務的経費は7137万円、投資的経費は4億103万円増加している。これは、普通建設事業で3億8698万円、災害復旧費で1404万円増加したことによるものである。

## ◆予算の執行状況

額は、歳入53億6320万円、収入率91・1%（前年度94・7%）となつており、収入未済額6574万円は前年度に比し1691万円の増となつてている。

## ◆財政の構造

歳出49億6934万円は、84・

## ◆村債の状況

令和2年度末の残高は28億6961万円となり、前年度に比して4151万円増加している。この残高は村民一人当たりおよそ81万円になる。

資金繰りの程度の指標となる実質公債費比率は6・0%で前年度に比べ0・6ポイント増加している。

## ◆基金の状況

財政調整基金は、観光交流館建設や庁舎建設等基金への積み立てなどにより9644万円減少し、当年度末現在高は11億4555万円となつている。

**ア 岁入の構成**  
自主財源と依存財源の構成比



## ◆決算の総括

# 第3回定例会 議案の主な内容

財務の分析に用いる指標を見ると、財政力指数は0・36と前年度から0・02ポイント悪化しており依然として低い水準となっている。経常収支比率は87・3%と前年度から4・1ポイント改善している。令和元年度におけるこの比率の県内町村平均は91・6%であった。実質公債費比率は6・0%と前年度から0・6ポイント増加している。令和元年度におけるこの比率の県内町村平均は7・2%であった。

財政の構造を見ると、自主財源が37・3%と前年度から11・7ポイント下降、義務的経費が26・4%と前年度から5・6ポイント減少し、投資的経費が27・5%と前年度から5・6ポイント増加している。自主財源が減少しているにもかかわらず、普通地方交付税が増えたことは、収入未済額の状況を見ると、一般会計と特別会計を合わせた総額は6574万円となつていて、これを前年度と比較すると1691万円(34・7%)増加していることになる。また、平成27年度には3475万円であつた収入未済額がここ5年間で3倍近くにまで増加している。収入未済額の中には、今後不納欠損に結びつくものが相当程度含まれているものとみられ、税収入の確保と税負担の公平性の観点からも、より効率的かつ有効な徴収方法を模索する必要があると思われる。

補助事業について、村でも多くの補助事業制度があるが利用されていない、あるいはごく少ない件数しか利用されていない事業が多く見受けられた。また、国や県の支出を伴う補助事業についても同様であると思われる。補助とは、地方自治法第232条の2の規定に基づき、行政目的を達成するためには利用件数が多いほどその効果が得られることがある。このことから、各種補助事業について積極的に周知を図る必要があると思われる。令和2年度は、國の方針に基づき個別施設計画を始めとした8つの計画が策定又は改定され、翌年度以降に計画策定が予定されているものの準備費用も合わせると約3700万円が支出されている。計画にはアンケートを通して村民の意見が反映されているものもある。計画が計画の今まで終わることのないよう、事業推進の指針として有効活用されることが望まれる。

システム関係経費について、令和元年度決算では概ね1億円、令和2年度決算では概ね1億4000万円が支出されている。総務省により電子自治体が推進されていることもあり、近年システム関係経費が増大している。システム関係経費は人口規模との関連性は低く、小規模自治体では支出に占める割合が必然的に高いものとなつてている。これは各町村とも共通した課題であり、各町村単独での解決は難しいものと思われる。現在、吾妻郡では独自にシステムの共同化を行い、経費圧縮(共同化開始時は概ね3割の圧縮がされた)を行っているが、これを多方面にわたって強力に推進し、さらなる費用圧縮に努めていただきたい。

施設の老朽化や多種多様な行政課題の対応に要する費用は年々増加傾向にあり、厳しい行財政運営を強いられるることは明らかである。限りある財源の中で、将来にわたり持続的・安定的な行財政運営及び村民福祉の向上を図るためにも、現行事業の必要性や効果を精査し、効果的な事業を計画的に執行することが必須であると考える。

意見書全文は  
こちらから。



## 議案の主な内容

### ◆決算

#### ●一般会計

新型コロナウイルス感染症に関する支出は、給付金や対策費などを合わせると5億3000万円を上回るものとなりました。

#### 【本会議質疑】

歳入総額は40億6713万円、歳出総額は37億3566万円で、歳入歳出の差引額から翌年度への繰越財源を除いた実質収支額は1億1251万円でした。テレビ受信対策事業で2億900万円、保健福祉センターの防災・減災省エネルギー設備導入事業で3億3110万円、道の駅のドックラン設置工事で489万円、土地造成や設計などの観光交流館整備事業で4458万円、GIGAスクール事業で34355万円、令和元年に発生した台風19号による災害復旧に4542万円が投じられたほか、

**後藤肇** マイナンバーカードの発行率は25・78%と聞いています。これは群馬県で何番目となるのか。また、なかなか普及しない理由は。

**住民課長** 取得率は群馬県で30番目となっている。村では住民票などのコンビニ交付を行っていないことも要因の一つではないかと考えている。

**佐藤晴夫** 地域おこし企業人の人件費の交付税算入基準は、0万円が特別交付税で措置される。最大で3年間の継続雇用が可能であるが、同一企業からは2人までとされている。

**野上富士夫** 昨年の3月7日に群馬県で初の新型コロナウイルスの感染者が出てから既に1年半が経過したが、変異株の出現等により未だ収束の見通しは立っていない。今後も村民の暮らしと命を守るため、特段の御尽力をいただきたい。

**村長** コロナウイルス感染症との戦いは長期化を強いられている。新たな治療法が開発され収束することを願っている。一方で、経済活動については、ウィズコロナ、アフターコロナ社会に対応した活動の再開を見据えなければならないと考えている。

**野上富士夫** 令和2年度の予算執行では、本宿詰所の建築工事を村内業者のプロポーザルとしたため約500万円の、福祉計画及び児童福祉計画を業務委託することなく職員が策定したことにより250万円の経費削減があつた。慣例にとらわれることなく、創意と工夫による経費の削減はあらゆる分野において可能だと思われる。なお一層の努力をいただきたい。

**総務課長** 予算の事業目を細分化したことにより、事業の経費や効果について改めて認識できるようになつた。全職員共通認識の下、健全な財政運営に努めていきたい。

**小林進** 移住者、定住者の募集はどのように進めているのか。

**地域振興課長** 移住定住コードイネーネーターのネットワークを使い募集している。令和2年度は24件の相談があつたが、コロナ禍ということもあり思うように

# 第3回定例会 議案の主な内容

進んでいない。今後も移住者が増えるよう努力をしていきたい。

**小林進** 移住定住コーディネーターの増員は考えているか。

**地域振興課長** 相談件数が増加するなど、必要に応じ検討したい。

**小林進** 沼田方面の乗合バスについて新たな動きがあつたようであるが説明を。

**地域振興課長** 今年の8月に沼田市からバスの運行方法の見直しをしているという話があつた。これを受け、独自のバス路線開設も視野に関係機関と協議を進めている。

**林和一** 保健福祉センターに3億3110万円をかけて防災・減災省エネエネルギー設備が設置されたが、期待される効果は。

**保健みらい課長** この事業は、補助金や交付税算入により、村の持ち出しは約5300万円となる。効果として、防災面では太陽光発電設備やガスを利用した発電装置も整備してエネルギーの分散を図り、停電時にも電力供給が可能となつた。併せ

て、高効率電気設備や工コキュートを導入したことにより、年間で、約100t（杉の木換算で約7100本）のCO<sub>2</sub>削減、300万円以上の光熱費削減が見込まれている。

**奈良哲男** 口ールベーラーが当初予算よりも154万円安く購入できた理由と耐用年数は。

**農林課長** 入札により安く購入できた。また、耐用年数は7年程度となつていて、更新前の機械は25年間使用した。

**奈良哲男** 牧場管理委託料が予算で42万円、決算で56万4000円増額となつていて、牧場の管理運営方法に変更があつたのか。

**農林課長** 令和元年度までロールサイレージ作成のために雇用了した者の人件費は賃金として支払っていたが、令和2年度から歳出科目が変更され、委託料で支払うこととなつたため増額となつていて。

**奈良哲男** たかやま高原牧場の牧夫の後継者育成についての考

**農林課長** 後継者が見つかり次第、牧場管理業務を覚えていただくため、ある程度の期間は2名体制でと考えている。

**奈良哲男** 村長が中心地づくりの拠点としてどうしても作りたいという観光交流館の建設が、今年度7億8000万円をかけスタートした。村民の方々からは賛否両論の意見があつたが、理解していただき、利用していただくためにメッセージを。

**村長** 観光交流館は令和元年度から本格的に進めた事業で、今年度完了することとなり非常に感極まるものがある。地元農産物を利用した加工品や食事の提供などを通して、生産者と来村者の交流を図り、農業振興と交流人口の拡大を目指す。また、イベントスペースなども提供し、村の観光交流の拠点として活用していきたい。

**農林課長** 所有している田畠が所有者の人件費は賃金として支払っていたが、令和2年度から歳出科目が変更され、委託料で支払うこととなつたため増額となつていて。

**後藤明宏** 農業振興地域に指定されていることを知らずにいる人が多く、様々な弊害が起きている。所有者に事業内容を周知し、見直しをすることはできないか。

係で行つたものである。また、認定農業者は、原則60歳未満で経営改善の意思がある者で、農業経営改善計画を作成し、その計画が審査会で認められれば認定農業者となる。

**林和一** 森林経営管理制度事業で行つた意識調査の後追い処理と未回収分の対応は。

**農林課長** 森林経営管理制度とは、所有者への意識調査により自ら管理できぬ森林を把握し、必要に応じて村が管理を受託する制度である。所有者数は979名、対象面積は963・45haで、令和14年度までの経営管理権集積を計画している。未回収分については再通知や電話等による催告を考えている。

**農林課長** 農業振興地域の指定は、法律に基づき、5年ごとに高山村が農用地区域として確保

## 第3回定例会 議案の主な内容

すべき面積が示される。その後、関係団体の承認や公示などを経て地番が決定される。令和8年度の指定時には、広報等により制度の周知を行い、見直し希望のある方は農業委員を通じて伝えてもらうよう検討したい。

**佐藤晴夫 農業用廃資材の回収**  
実績と、その処分費用は。

**農林課長 農業用ビニールは利用者16名で905kgを回収、農業用ポリフィルムは利用者64名で1万7735kgを回収した。1kg当たりの処理料は、農業用ビニールが50円、農業用ポリフィルムが46円となつていて、このうち10円を村が負担している。**

**後藤明宏 原地区土地改良事業**  
の進捗状況と今後の整備計画は。

**農林課長** 現在、区域内の農道や導排水路の図面を作成している。今年度中に農地中間管理権の設定を県農業公社へ提出。令和4年度には事業採択申請を県に提出し事業採択となる予定で、令和5年度には地区全体の

実施設計や換地計画の原案を作成。また、埋蔵文化財の本調査を開始する。令和6年11月頃には整備工事に着手し、令和9年度に完了の見込みとなつていて。その後、換地や登記等を行い事業完了と計画している。

**後藤明宏 新ストーブ購入補助**  
事業は、令和元年度で3件、令和2年度で7件と利用されており、SDGsの気候変動に具体的な対策、地球温暖化対策、二酸化炭素削減に即した事業であるにもかかわらず、なぜ廃止するのか。また、今後同様の補助事業を行う考えはあるか。

**農林課長** 補助金の目的が木材関連事業の活性化ということであり、利用件数も少なく目的を達せないと判断し廃止とした。同様の補助事業については、さらなる情報収集を行うとともに、国や県の動向を踏まえて判断していくたい。

**後藤明宏** 長年にわたり橋りょう改良が予定されているが、改況は。また、終了までにはあと

何年かかるのか。

**建設課長** 村内96橋を5地区に分け毎年点検し4段階に分けて管理している。現状では、健全なもの68橋、予防的保全が必要なもの27橋、早期に補修を要するもの1橋、緊急的段階のもの

0橋となつていて。今後も、点検を行いながら順次改修していくこととなるため、工事完了の見通しは立てられない。

**林和一 消防団の訓練時に水漏れをしているホースを使用しているのが見受けられたが、現在は解消されているか。**  
**総務課長** ホースは各分団に点検してもらつており、予備も配付している。また、水漏れを一時的に止める器具なども配備しているが、使い方が伝わっていないようなので周知し改善を図つていただきたい。

**平形眞喜夫 空き家の実態調査**  
が行われ、危険物件なども確認されていると思う。この件数と

ジで周知したいと思つていて。また、実態調査の結果、特定空き家の可能性がある物件は36件で、そのうち相談や苦情があつた物件は3件となつていて。

### ●国民健康保険特別会計

歳入総額は4億8815万円、歳出総額は4億7108万円で、実質収支額は1706万円でした。

令和2年度における月平均被保険者数は1107人（前年度1055人）となつています。

### ●後期高齢者医療特別会計

歳入総額は4923万円、歳出総額は4765万円で、実質収支額は158万円でした。

令和2年度における月平均被保険者数は760人（前年度762人）となつています。

**建設課長** 空き家対策事業関係の広報は、広報誌やホームページは、

# 第3回定例会 議案の主な内容

## ●介護保険特別会計

歳入総額は4億8054万円、歳出総額4億5512万円で、実質収支額は2542万円でした。

歳出総額は1億186万円で、実質収支額は695万円でした。

## ◆人事

### ●高山村教育委員会委員の任命について

9月30日をもって松井ゆき子氏が任期満了となるため、後任に飯塚武久氏を任命したいというので、適任者と認め同意しました。任期は令和3年10月1日から令和7年9月30日までとなります。

## ◆条例

### ●高山村税条例の一一部改正について

地方税法の改正に伴うもので、可決されました。

寄附金のうち出資に関する業務に充てられるものは税額控除の対象外とされたほか、セルフメディケーション税制が令和9年度まで延長されました。

### ●高山村固定資産評価審査委員会委員の選任について

9月30日をもつて後藤憲夫氏が任期満了となるため、後任に野上創造氏を選任したいというもので、適任者と認め同意しました。任期は令和3年10月1日から令和6年9月30日までとなります。

※セルフメディケーション税制 健康診断など健康の維持増進や疾病予防への取組を行う者が、1万2000円を超える一定の医薬品を購入した場合、8万8000円を上限として所得控除が受けられる制度。

## ●簡易水道事業特別会計

歳出総額は1億881万円、

歳入総額は2012万円、歳出総額は1953万円で、実質収支額は59万円でした。

## ●農業用水事業特別会計

依然として北之谷地区の分譲地2区画が未販売となっています。

## ●土地開発事業特別会計

令和2年度における月平均受給者数は183人（前年度187人）となっています。



# 第3回定例会 議案の主な内容

## ●高山村基金条例の一部改正について

地域社会デジタル社会推進基金を設置するもので、可決されました。

この基金は、国からの地域社会のデジタル化を推進するための交付金を積み立て、事業に充てるものです。

### ◆ 契約

#### ●道の駅中山盆地高山観光交流館昇降機・淨化槽・受水槽設備設置等工事の請負契約について

この工事の請負契約を、佐田建設ベーター、浄化槽、受水槽の設置工事の請負契約を、佐田建設株式会社北毛営業所と6435万円で締結するもので、可決されました。工期は令和4年3月15日までとなります。

#### ●道の駅中山盆地高山観光交流館厨房機器購入について

この工事の請負契約を、佐田建設株式会社北毛営業所と6435万円で締結するもので、可決されました。工期は令和4年3月15日までとなります。

## ●村道判形線（田尻橋工区）橋梁補修工事の請負契約について

判形地内に架かる田尻橋の補修工事の請負契約を、株式会社千島工務店と6655万円で締結するもので、可決されました。

この補修工事は橋りょうの長寿命化を図るためのもので、工期は令和4年3月15日までとなります。

### 【本会議質疑】

後藤肇 3月15日までの工期で完成できるのか。

建設課長 新型コロナウイルス感染症の影響で資材等が遅れる可能性もあり工期延長も考えられるが、現時点では3月15日の完成を目指している。

後藤肇 3月15日までの工期で完成できるのか。

建設課長 新型コロナウイルス感染症の影響で資材等が遅れる可能性もあり工期延長も考えら

れるが、現時点では3月15日の完成を目指している。

建設課長 新型コロナウイルス感染症の影響で資材等が遅れる可能性もあり工期延長も考えら

れるが、現時点では3月15日の完成を目指している。

後藤明宏 農産物加工所では、何をどのように加工し、どう処理していくのか。また、出荷規格、引き取り価格など生産者との話し合いは進んでいるのか。

地域振興課長 現在、考えているのは枝豆、トウモロコシ、冬の間はビーツなど、村のあらゆる農産物を試作品として考えている。また、仕入れや搬入などをどのようにするのか、10月くらいまでに生産者と協議し具体的に決めていきたい。

後藤明宏 農産物加工所では、何をどのように加工し、どう処理していくのか。また、出荷規格、引き取り価格など生産者との話し合いは進んでいるのか。

地域振興課長 現在、考えているのは枝豆、トウモロコシ、冬の間はビーツなど、村のあらゆる農産物を試作品として考えている。また、仕入れや搬入などをどのようにするのか、10月くらいまでに生産者と協議し具体的に決めていきたい。

機器を一括して購入するもので、可決されました。

商品開発室用で60機器、力

フエ厨房用で14機器、ジエラート厨房用で17機器を、総合厨房

設備株式会社から5412万円で購入するものです。納入期限は令和4年3月10日となります。

6207万6000円を増額し、予算総額を3億1982万4000円とするもので、可決されました。

### ◆補正予算

#### ●令和3年度一般会計（第3号）

### 【本会議質疑】

林和一 テレビ無線共聴システム

# 第3回定例会 議案の主な内容

ム管理事業では、入念な調査をしたにも関わらず、本格運営開始直後に当初予算と合わせ600万円を超えるような不具合対策費用を要している説明を。

**地域振興課長** 判形地区と本宿

地区でテレビが映らないところがあつた。判形地区については個別アンテナで、本宿地区についてはG Fアンテナを増設し対応したい。

**奈良哲男** こども園増改築工事の方法は。

**教育課長** プールを設置してある場所に52m<sup>2</sup>の保育室を増築するもので、木造と鉄骨造りの仕様書により村内業者にどちらが低コストで建築できるかを選択してもらい、プロポーザル方式により低価格の構造を採用したいと考えている。

**奈良哲男** 保育室の面積は縮小できないのか。

**教育長** 幼稚園型こども園は2歳以上の子供は一人につき1・98m<sup>2</sup>と定められている。高山村では平成28年生まれが9人で、その後、15人、30人、23人、20

人となつていて、令和4年度以降の子供の人数は予想できないが、増えたときのこととも考えると、増築する保育室の面積は妥当と考えている。

## ●令和3年度土地開発事業特別会計（第1号）

17万6000円を増額し、予算総額を700万1000円とするもので、可決されました。

## ●令和3年度農業用水事業特別会計（第1号）

210万円を増額し、予算総額を2649万5000円とするもので、可決されました。

## ●令和3年度一般会計（第4号）

### ◆その他

査・分析委託料を計上したものです。

## ●令和3年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

実質公債費比率は6・0%

早期健全化基準25%を大きく下回っています。その他の比率は算定されず健全な財政状況でした。土地開発事業、簡易水道事業、水をきれいにする事業ではいずれも資金不足比率は算定されず健全な財政状況でした。

### 【本会議質疑】

**奈良哲男** 新型コロナウイルス感染症対策と今後の経営方針は。

**副村長** 議会要望や村民から心配する声が寄せられたため、感染リスクが高いと思われる温泉

施設に対し宣言中の休業要請を発出した。その他の施設は引き続き万全な感染防止対策を図っていく。今後の管理運営は、中期経営計画に沿つて、利用者が快適で何度も利用したくなる施設の実現を目指す所存である。

口ナウイルス感染症の拡大により急激かつ一時的に業績が悪化したためとしています。

この報告は、資本金などを2分の1以上出資している法人や株式会社の経営状況を説明する書類を議会に提出することと地方自治法で規定されていることから、村が資本金を全額出資している株式会社たかやま振興公社の経営状況が報告されたものです。

## ●株式会社たかやま振興 公社の経営状況について

令和2年度の純損益は2053万2000円の赤字であることが報告されました。また、債務超過に陥った要因は、新型コ

270万円を増額し、予算総額を30億2252万4000円とするもので、可決されました。遊休農地を活用した村の魅力を開発や新規就農支援のための調

議案	賛成	反対	議決結果	1 後藤 明宏	2 佐藤 晴夫	3 林 和一	4 後藤 肇	5 野上 富士夫	6 山口 英司	7 平形 眞喜夫	8 奈良 哲男	9 小林 進	10 林 昌枝
				後藤 明宏	佐藤 晴夫	林 和一	後藤 肇	野上 富士夫	山口 英司	平形 眞喜夫	奈良 哲男	小林 進	林 昌枝
令和2年度高山村一般会計歳入歳出決算認定について	8	0	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
令和2年度高山村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	8	0	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
令和2年度高山村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	8	0	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
令和2年度高山村介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	8	0	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
令和2年度高山村土地開発事業特別会計歳入歳出決算認定について	8	0	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
令和2年度高山村農業用水事業特別会計歳入歳出決算認定について	8	0	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
令和2年度高山村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	8	0	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
令和2年度高山村水をきれいにする事業特別会計歳入歳出決算認定について	8	0	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
高山村教育委員会委員の任命について	9	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高山村固定資産評価審査委員会委員の選任について	9	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高山村税条例の一部改正について	8	0	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
高山村基金条例の一部改正について	8	0	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
令和3年度高山村一般会計補正予算（第3号）	8	0	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
令和3年度高山村土地開発事業特別会計補正予算（第1号）	8	0	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
令和3年度高山村農業用水事業特別会計補正予算（第1号）	8	0	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
道の駅中山盆地高山観光交流館昇降機・浄化槽・受水槽設備設置等工事の請負契約について	8	0	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
村道判形線（田尻橋工区）橋梁補修工事の請負契約について	8	0	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
道の駅中山盆地高山観光交流館厨房機器購入について	7	1	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×
令和3年度高山村一般会計補正予算（第4号）	8	0	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
養育費確保のための支援制度創設を求める要望書について	8	0	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について	8	0	採択	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
日本政府に核兵器禁止条約へ署名・批准を求める陳情について	8	0	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について	8	0	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○



# 温泉施設の休業補償を計上

## たかやま振興公社へ720万円の休業要請協力金

令和3年第3回臨時会が10月5日に開催されました。  
一般会計補正予算が提出され、全員賛成で可決されました。

### 議案の主な内容

#### ◆補正予算

##### ●令和3年度一般会計 (第5号)

**山口英司** 指定管理施設休業要請協力金728万7000円の算出根拠は。

**地域振興課長** 9月6日から30

1438万7000円を増額し、予算総額を30億3691万1000円とするもので、可決されました。

指定管理者への休業要請協力金や住宅リフォーム補助金300万円のほか、新型コロナウイルス感染症対策として410万円が計上されました。

当たり100万円を上限とした持続化給付金と比べると多少高いのではないか。

**副村長** コロナ禍により収入が

減少していた前年同月を基準に1日当たりの経費を算出して計上した。大変業績が苦しく全ての経費を上げて算出したため高額となっているが、管理運営にしっかりと取り組み、なんとかこの厳しい情勢を乗り切れば」と思っている。

**林和一** 過日の説明では、国費

等の該当となつた分は戻入する」ということであつたが。

**副村長** そのとおりである。

**後藤明宏** 算出基礎に売上げも入っているということだが、経

費は売上げから支払われるものであるので、売上げは入れなくともいいのではないか。  
**地域振興課長** 昨年9月の売上げは約660万円であった。そのための経費を案分し協力金として予算計上した。



# 一般質問



佐藤晴夫議員

## 利用しやすい住宅リフォーム補助金制度へ

**（議員）** 住宅リフォーム補助金事業は、住環境の向上及び定住促進や地域経済の活性化を図るため、平成24年度から始まり、補助額は工事費の20%で50万円を上限とし、当該住宅につき1度限りとなっています。

昨年までの9年間の補助実績を見ると利用件数は184件あり、補助限度額の交付件数は85件、率にして約47%で、約半数の申請者が限度額以下となっています。村民や施工業者の皆さんに喜ばれている制度ですが、補助限度額以内であれば何回かに分けて利用できればありがたいとの意見が多くあります。

す。村長の今後の考えをお伺いいたします。

### 住宅リフォーム補助金支出状況

単位：千円

年度	総事業費	補助金額	件数	上限件数
H24	73,012	11,837	44	16
H25	54,578	7,889	29	13
H26	49,061	5,594	20	9
H27	39,165	5,267	16	11
H28	17,856	3,222	12	6
H29	35,595	6,148	19	11
H30	17,499	3,042	10	3
R 1	41,524	6,814	18	10
R 2	36,770	6,454	16	7



## 利用状況を精査し検討したい

**（村長）** 住宅リフォーム補助金は、リフォーム工事により既存住宅の質を向上させ住宅の長期利用を可能とする目的として、本年度で10年間継続している事業となりました。

補助限度額以内であれば、何回かに分けて利用できればとのご意見でございます。

今年は、昨年度を上回る利用状況となつております。まだ利用をしていない方からの申請が多い状況であるため、未利用者を優先する観点から、引き続き今後の利用状況を精査しながら検討させていただきたいと思います。

**（議員）** この制度は皆さんに喜ばれている制度でございます。より一層の改良等を考えていただき、皆さんが使いやすい制度としていただきたくお願いいたします。



# 一般質問



山口英司議員

## 廃止協議は

### 停滞している状況

〈村長〉 本年3月12日に、いぶき会館においてJR東日本と村関係者総勢12名で、今後の維持管理について協議の場を持ち、4月16日議会全員協議会にて協議内容を報告しました。

その後、JR東日本の人事異動により担当者が異動、7月27日に後任者が決まつた旨の報告がありました。まだ面会等もできず、廃止に向けた協議は停滞している状況です。コロナ禍で対面での協議が難しくなつてきていました。

この事態に対応するため建設された、高山揚水場の地下350mの施設と、立坑の廃止について、高山村とJR東日本は、数年前より協議を開始しましたが、依然として進展する様子が見えません。その理由と進捗状況について説明願います。

## 高山揚水場

### 廃止協議の進捗は

〈議員〉 上越新幹線は昭和46年に着工、昭和57年に完成し、営業を開始しました。高山村の地下を貫く中山トンネルは、屈指の難工事であつたとともに、村内の飲料水や農業用水が枯渇するなど、甚大な被害をもたらしました。

この事態に対応するため建設

された、高山揚水場の地下350mの施設と、立坑の廃止について、高山村とJR東日本は、

数年前より協議を開始しましたが、依然として進展する様子が見えません。その理由と進捗状況について説明願います。

## 映像で後世に

### 残すべきでは

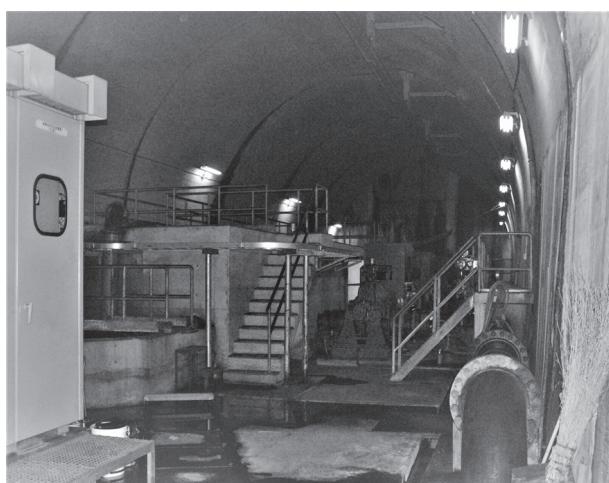
すので、WEB会議等で協議を進めたいと考えています。今のところ廃止時期については未定です。

## 映像データの

### 長期保存を検討

〈村長〉 上越新幹線中山トンネルのすぐ隣に、高山揚水場の地下ポンプ施設があります。トンネル工事の大出水事故の影響により、以前より農業用水として利用していた河川や山際からの湧水、さらには村営の井戸まで枯渇してしまい、非常事態に對処するため高山揚水場を建設

し、地下350mに毎秒5m<sup>3</sup>の揚水ポンプ3台を設置し、立坑内の揚水管を介して地上部へ揚水し、そこから各農業用ため池へ送水し、農業用水として長年利用してきました。こうした歴史のある貴重な施設ですので、閉鎖工事を実施する前に、アイライブス等の映像データを長期保存できるよう、今後検討していきたいと考えています。



地下350mにある揚水設備

# 一般質問



後藤 肇議員

## 空家等解体補助金の対象範囲拡大を

〈議員〉 補助金の対象としているのが、特定空家と村長が認めているものとあります。が、村内に何件の空き家等があつて、今までに何件対象となつたのか教えていただきたい。それと、補助金の対象範囲の拡大を検討いただきたい。

少していますが、ほぼ変わらない状況となつております。その中で、現地調査により重度の損傷があり特定空家の可能性がある建物としたものは36戸となります。今のところ特定空家等に指定した物件はありませんので補助金の交付実績はありません。

補助金の対象範囲の拡大についてお願いしたいということですが、空き家の中には、不用な建物を除却することにより、不動産市場に流通できる優良宅地が多くあると思います。その宅地が空家バンクを活用して流通できるような補助制度を検討してまいりたいと思います。

前回の一般質問でも、通学路での横断歩道についての質問が出ておりましたが、他にも何箇所かの危険箇所が村内では点在するのではないかと考えます。

把握している箇所をお知らせいただきたい。特に本年度、村内の人人が関係する死亡事故が2件発生しており、交通事故は加害者、被害者ともに甚大な損害になるからです。

## 宅地が流通するような補助制度を検討する

〈村長〉 昨年実施いたしました空家実態調査によりますと、本村の空き家数は173戸、空き家率10・5%となつております。前回の調査から0・5%減

〈議員〉 村長がお話ししている内容は理解できますが、キヤツチフレーズにありますように、100年先まで住みたい高山ですから、それにはやはり、特定空家に指定してもよい建物が見受けられます。その辺を対処していただきました。

## こども園内の事故と通学路の安全対策は

情報の共有化を図り  
迅速に対応・改善する

〈議員〉 今年4月にこども園に移行され、より園内の安全対策を確認をされ、共有化されている内容等をお伺いいたします。全国では2020年に起きた事故は、前年度より287件増えて1586件、統計を取り始めた15年以降では最多となっております。

前回の一般質問でも、通学路に対する横断歩道についての質問が出ておりましたが、他にも何箇所かの危険箇所が村内では点在するのではないかと考えます。把握している箇所をお知らせいただきたい。特に本年度、村内の人人が関係する死亡事故が2件発生しており、交通事故は加害者、被害者ともに甚大な損害になるからです。

通学路の安全点検ですが、毎年2回青少推の皆さんと点検を実施し、危険箇所マップを更新しています。現在、村全体で17か所を把握しており、関係部署と情報を共有し関係機関に改善を働きかけております。

〈教育長〉 こども園、小・中学校におきましては、毎年専門業者に委託し遊具の安全点検を行っている。施設についても、県教委が示す「幼児・児童・生徒の安全確保及び学校の安全管理について」の点検項目に則って、毎月全職員で定期的に点検し、必要な改善は教育委員会で対応しています。また、事故発生時にすぐに対応できるよう危機管理マニュアルを整備しており、吾妻郡共通で「こども安心カード」を整備し、必要な情報を記入してもらい教職員で共有化を図っています。

# 付託陳情書等審査結果報告

## コロナ禍による厳しい財政状況に対処し 地方税財源の充実を求める意見書を提出

### ■養育費確保のための支援制度

#### 創設を求める要望書

要旨は、養育費の取り決めに関する調停申立費用や公正証書作成費用を補助する制度を設け、養育費確保のための支援制度創設を求めるものです。

村も、財源の3分の1を地方交付税に依存する中で、「関係機関に意見書を提出することで採択」と決定をしました。

### ■日本政府に核兵器禁止条約へ署名・批准を求める陳情

#### (意見書抜粋)

要旨は、核兵器に関するあらゆることを禁止する条約に署名・批准を求め意見書の提出を望むものです。

大都市での制度化は見受けられますが、周辺自治体にも配慮しながら更に調査研究を要するとなり、「趣旨採択」と決定しました。

### ■コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について

要旨は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、社会的・経済的影響が大きく、国へ地方財源の確保を求めるものです。

#### 提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、経済産業大臣、内閣官房長官、経済再生担当大臣

#### 記

1 急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が増大している現状を踏まえ、十分な総額を確保すること。

#### 2 固定資産税は市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは、

断じて行わないこと。固定資産税等に係る特例措置は期限への不安が続いている。

地方自治体においては、感染症対策はもとより、地方創生、雇用対策、防災・減災対策、デジタル化や脱炭素社会の実現と

ともに、財政需要の増嵩が見込まれる社会保障等への対応に迫られており、地方税財源の充実

に留めることで決定しました。

4 自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時の軽減の延長について、更なる延長は断じて行わないこと。

5 炭素にかかる税を増設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。

# 議会活動報告

要旨は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、社会的・経済的影響が大きく、国へ地方財源の確保を求めるものです。



国においては、令和4年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

## 全員協議会

いて、一般の方の接種開始は今年度末頃になる見通しであるとの説明がありました。

令和3年7月7日、8月5日、8月30日、10月5日に全員協議会が、6月28日、9月24日に観光交流館に係る説明会が開催されましたので、主な議題と概要についてお知らせします。

### ①新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について

国から345万5000円が追加交付されるとの報告がされました。交付金の活用方法として、村民が事業主である飲食店等を対象とし、事業継続のための補助金として300万円、その他感染防止対策に対する補助金を考えていました。

いて

運営主体となつている沼田市から、赤字路線の減少に向けて運行方法の見直しを行つてはいるとの連絡があつた旨が報告されました。沼田市の検討状況を注視し、緊密な連絡をとりながら、対応方法を検討するとしています。

### ④観光交流館について

建築工事は概ね順調に推移しているとの報告があり、完成後の運営体制等について現時点での考え方とした上で、下表のとおりの組織体制を考えていると説明がなされました。

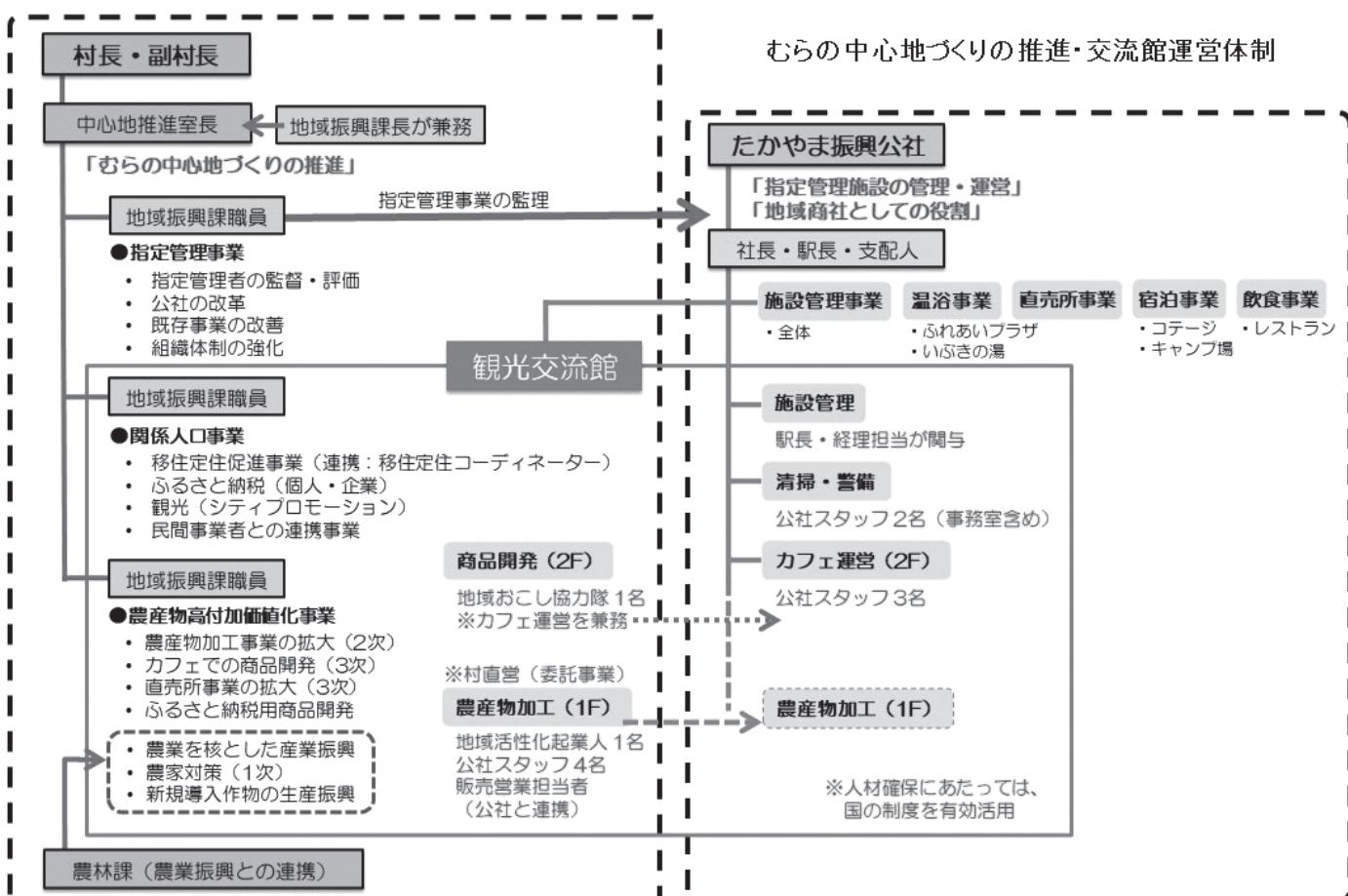
また、協議の中で、早急な運

営スタッフの確保、仮称として

使用している「観光交流館」の名称決定、計画的にイベントを開催し集客を図ることなどの提言がされました。

### ②新型コロナウイルスワクチンの接種状況について

8月19日をもつて集団接種が一段落し、9月29日現在の2回目の接種率は89・6%であること、3回目の接種も検討されて



# 議会活動報告

## 緊急事態宣言発令下における 新型コロナ対策に関する要望書を提出

令和3年8月21日提出

(要望書全文)

我が国では、依然として新型コロナウイルス感染症が猛威を振るつており、特に最近では変異株による急激な感染者の増加が見られています。村民は感染

防止に努めた生活をされておりますが、吾妻保健所管内でも感染者が増加しており、当村への新型コロナウイルスの侵入を完全に防ぐことは困難であると思われます。また、8月20日には群馬県にも緊急事態宣言が発され、「感染拡大防止のための群馬県の緊急事態措置」も決定され要請がなされているところであります。

このようなことから、国や県の要請を遵守することは当然のことながら、「村民の命と健康を守る」ということを最優先に、先手を打った対策を講ずることが必要であると考えます。

そこで、緊急事態宣言中の対策に下記事項を盛り込んでいただき、万難を排し、即刻の実現が図られますよう要望いたします。

1、村及び指定管理者が管理する施設の休業

2、こども園、小学校、中学校の分散登校

3、感染状況によつては、こども園、小学校、中学校の休業（児童館、保育所など子供が集まる施設等の閉鎖）



## ～議会HPに「会議録」を掲載しています～

議員の質疑や討論、村長の答弁などの全文をご覧いただくことができます。



会議録トップページ



議会ホームページ

議会ホームページURL <https://www.vill.takayama.gunma.jp/gikai/index.html>

## 議会を傍聴してみませんか？

- 傍聴は、備え付けの受付票に住所、氏名、年齢を記入し投函するだけです。
- 傍聴席への出入りは自由で、本会議中でも入退室ができます。

令和3年第4回定例会 本会議（予定）

11月30日（火）、12月7日（火）午前10時から  
一般質問は11月30日（火）

# Information <各種お知らせ>

村民ひろば

## 初めての北米担当

相京 輝男（戸室）

購買担当として東南アジアを奔走していた頃、突然の社命により活動の場を北米に移すことになった。主材のオークの開拓命令、高品質の原木を低価格で安定供給できる体制づくりが目的だった。当時の消費額は年10億ほど、経営に直結する業務のためプレッシャーは大きかつた。成田からシカゴ経由でニューヨークまでの18時間は長かった。

小型機で北米全土を飛び回る日々。3年目を迎える頃は軌道にも乗り、以来28年間、購買一筋のサラリーマン人生を歩んだ。休日はバージニア州のウイリアムズバーグに時々出かけた。コロナブースが上陸後英領として、後にアメリカに返還された歴史ある町である。町全体が当時の景観を保ち、馬車が走り、ログハウスのホテル、人々の服装までタイムスリップ感受け合いの一押しの町です。

北米の魅力は、巨木が果てしなく広がり、紅葉は息を呑む美しさ。「圧觀」です。日本食に飢え見つけたうどん屋のオーナーが館林出身で、しばし群馬談義。再訪を約束するも果たせていない。

たわいない体験談です。箸休めにご笑覧ください。



## 議会の動き

7月

3日 国民平和大行進

7日 全員協議会

13日 議会広報編集特別委員会

28日 非核平和行進自治体要請団訪問

8月

5日 全員協議会

6日 吾妻広域町村圏振興整備組合監査

21日 新型コロナ対策に関する協議

23日 新型コロナ対策に関する要望書提出

吾妻広域町村圏振興整備組合議会（中之条町）

25日 吾妻環境施設組合議会（中之条町）

議会運営委員会

30日 全員協議会

9月

2日 第2回定例会（開会）本会議

3日～8日 総務文教常任委員会

提出議案調査

14日 提出議案調査

16日 第3回定例会（閉会）本会議

議会広報編集特別委員会

24日 観光交流館の運営等に係る説明会

吾妻東部衛生施設組合議会（中之条町）

編集後記

黄金色の田園風景から季節が前進、紅葉は次第に山を下り、日を追うごとに秋の装いが広がっています。

ワクチン接種が加速し、新型コロナウイルス新規感染者は激減しました。緊急事態宣言は全面解除になりました。経済活動も再開、日常生活が戻りつつあります。

国政においては、岸田内閣が発足し衆議院を解散、総選挙となりました。新たに選出された国会議員には、国民の意見に耳を傾け、生活がより良くなるよう政治に取り組むことを期待します。

山口 英司

【発行責任者】

議

長

林

昌

枝

【議会広報編集特別委員会】

委員長

副委員長

委員

員

員

委員

員

員

員

員

委員

員

員

員

員